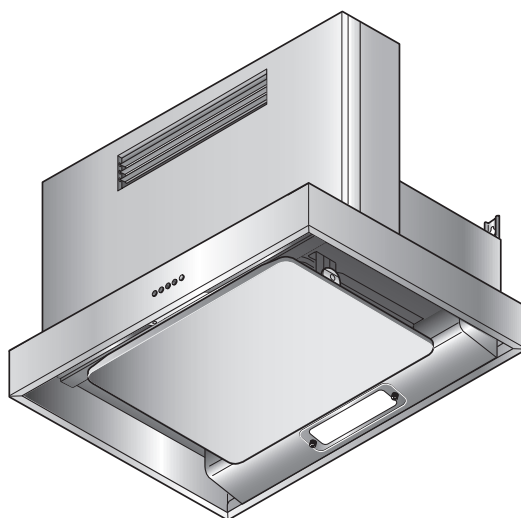
IHクッキングヒーター専用

室内循環フード

取扱説明書

販売店・工事店様へ：
この取扱説明書は取り付け後、施主様へ必ずお渡しください。

このたびは室内循環フードをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
ご使用される前に必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
お読みになったあとは取付説明書とともにいつでも見られるところに大切に保管してください。

1J02 0581

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の２つに区別しています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠ 警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

⚠ 注意：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

絵表示の例

⃠ 記号は禁止行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

⚠ 警告

使用禁止

- **IHクッキングヒーター以外には使用禁止**
  本製品は屋外への排気および換気を行いません
  建築基準法に従った換気設備が別途必要です
  カセットコンロ、石油ストーブ等の一酸化炭素を発生する燃焼器具を使用する場合、必ず別途換気をおこなってください

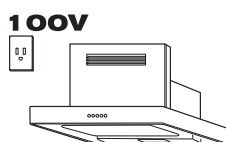
分解・修理
改造禁止

- **修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造はしないこと**
  火災・感電・けがの原因となります

- **電気部品（モータ・スイッチ等）は、水・洗剤等の液体につけたりかけたりしないこと**
  ショート・感電のおそれがあります

水かけ禁止

使用禁止

- **交流 100 V以外では使用しないこと**
  火災・感電の原因となります

プラグを
抜く

- **お手入れやランプ交換の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のブレーカを切ること**
  またぬれた手で抜き差し、入／切しないこと
  感電やけがをすることがあります

分電盤

ほこりをとる

- **電源プラグは刃、および刃の取付面にほこりが付着している場合はよく拭くこと**
  火災の原因となります

操作禁止

- **ガス漏れのときは、スイッチを入／切しないこと**
  爆発・引火のおそれがあります

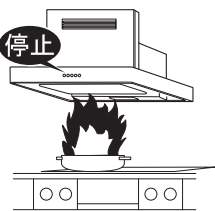
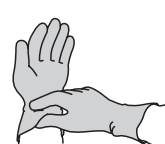
安全上のご注意

⚠ 注意

プラグを持って抜く

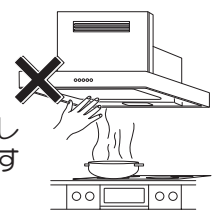
● **電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜くこと**
コードに傷がつき、火災や感電の原因になります

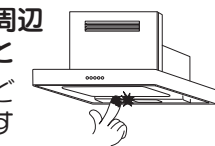
運転停止

● **調理中、油に火がついたときは、運転を止めること**
運転をしていると、火の勢いがよけいに強くなり危険です

接触禁止

● **運転中は指や物を絶対に入れないこと**
けがをするおそれがあります

接触禁止

● **調理中は、整流板や周辺の部品に手を触れないこと**
整流板や部品が落下して、やけどやけがをすることがあります

接触禁止

● **ランプカバーやその周辺には手を触れないこと**
高温になるためやけどをすることがあります

使用禁止

● **本体に異常な振動が発生した場合、使用しないこと**
本体・部品の落下によりけがをするおそれがあります

禁　止

● **室内循環フードの上に物を置かないこと**
落下してけがをしたり、火災や故障の原因となります

禁　止

● **お手入れの際などに、吹出し口から中に物を入れたり、水や洗剤をかけないでください**
故障の原因になります

プラグを抜く

● **長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のブレーカを切ること**
絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります

手袋をする

● **お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること**
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります

取付注意

● **お手入れの際にはずした整流板やファン、部品の取り付けは確実におこなうこと**
落下によりけがをするおそれがあります

落下注意

● **整流板を本体から取りはずさずに、図のような状態でお手入れをしないこと**
落下するとけがをしたり、部品の傷・変形の原因となります

落下注意

● **部品を落とさないように両手でしっかりと支えること**
落下するとけがをしたり、部品の傷・変形の原因となります

高温注意

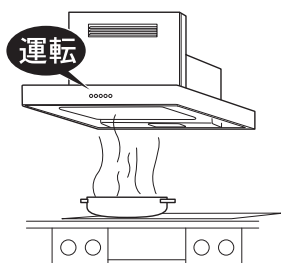
● **ランプの交換は、ガラスやランプが十分冷めてから行うこと**
やけどのおそれがあります

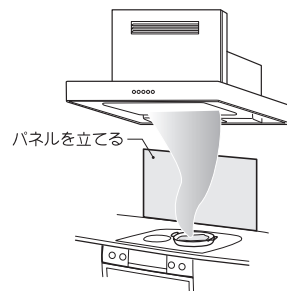
使用禁止

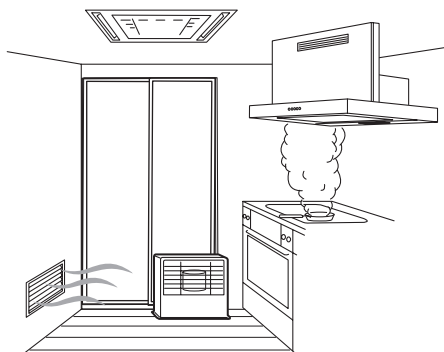
● **指定以外のランプを使わないこと**
ランプカバー周辺が高温となり、やけどのおそれがあります

使用上のお願い

● **ＩＨクッキングヒーターを使用するときは、必ず室内循環フードを運転してください**

運転しないと室内循環フード内の温度が上がり、製品の損傷や高熱による故障の原因となります

● **必ず調理器具の後ろ側にパネルを立ててください**

横風等による換気性能の低下を防ぎます
なお、パネルは不燃性の材質のものをご用意ください

● **キッチン全体の換気は別途おこなってください**

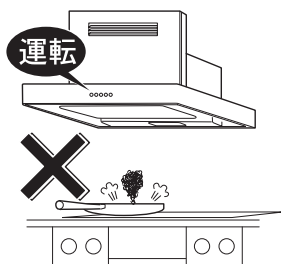
本室内循環フードには換気機能はありません
建築基準法に従った換気設備が別途必要となります

● **エアコンの風が直接あたらないようにしてください**

風を受けると、捕集性能が悪くなります
オープンな場所では特に室内循環フードから漏れやすくなります

● **部屋の扉や窓からの風が強い場合には、横風等の影響で捕集性能が悪くなる場合があります**

室内循環フード近辺の扉や窓からの横風等の影響がないようにしてください

● **ＩＨクッキングヒーターの空焚きは絶対にしないでください**

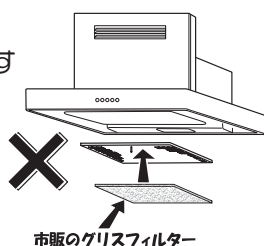
製品の損傷や高熱による故障の原因となります

● **キッチンの気温が低いときに使用された場合には室内循環フードの表面が結露することがあります**

この場合は拭き取って使用してください

● **グリル付のＩＨクッキングヒーターと合わせて使用する場合、グリル排気口から出る煙によって、壁パネルもしくはランプカバー表面が結露することがあります**

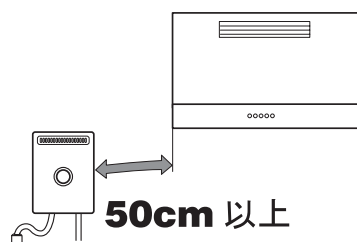
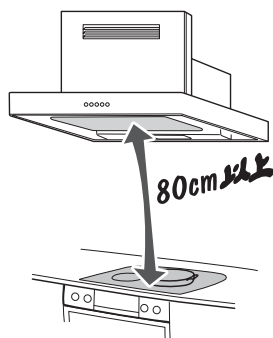
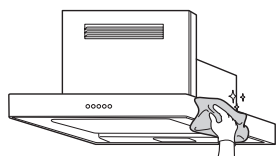
この場合は拭き取って使用してください

● **市販のグリスフィルターに交換したり、重ねて使用しないでください**

吸い込みが悪くなり、異音・振動が発生する場合があります
性能を維持するため、純正の金属製グリスフィルター（スロットフィルタ）をご使用ください

● **ＩＨクッキングヒーター（電気こんろ）を使用時、レンジフードファンがあたたまりにくいため、結露（水滴）が生じることがあります**

お手数ですがその際は滴下する前に拭き取ってご使用ください
特に冬期など気温の低い状況では結露がしやすくなりますのでご注意ください

使用上のお願い

● **湯沸器は室内循環フードから50cｍ以上離してください**
室内循環フードの下部には湯沸器を絶対に取り付けないでください
製品の損傷や高熱による故障の原因となります

● **ＩＨクッキングヒーターの真上、80cｍ以上に取り付けてあるか確認してください**
火災予防のため、製品の下端からＩＨクッキングヒーターの真上まで80cm以上必要です

● **汚れてきたらその都度お手入れをしてください**
特に下端部は油汚れがつきやすいので、滴下する前にふき取ってご使用ください

● **吹出し口をふさがないでください**
風の出る方向に物を置かないでください
また、お手入れの際などにルーバーの向きが変わってしまった場合は、適宜調整してください

● **本製品には、油吸着フィルタ・脱臭フィルタ・エアフィルタの３種類のフィルタが搭載されています**
それらを取りはずした状態で使用しないでください
取りはずしたまま使用したり、長期間交換しないで使用しつづけると、油や臭いが吸着・除去できずに、室内に放出されてしまいます

交換の目安：
　脱臭フィルタ・エアフィルタは３年、
　油吸着フィルタは１２年です

※ 各フィルタの交換・回収・処分はフジテックメンテナンス㈱のサービスマンがおこないますので、お客様ご自身での交換・処分はおこなわないでください。
（各フィルタのメンテナンスについては19ページをご覧ください。）

● **脱臭材の取り扱いには十分注意してください**
- **一般家庭用キッチン以外には使用しないでください**
- **脱臭材を幼児の手の届くところに置かないでください**

誤って脱臭材を口に入れたり、飲み込んだりした場合は、うがいをし、医師の診断を受けてください

● **本製品は、煙を除去することができません**
多量の煙が発生する調理をおこなった場合、一時的に室内へ煙が充満しますので、窓を開けるなど、換気を行ってください
また、グリル（ロースター）をご使用の場合には、脱煙機能を備えたＩＨクッキングヒーターをご使用ください

使いかた

製品の特長

◆ 室内循環フードについて

一酸化炭素が発生しないＩＨクッキングヒーター専用のダクトレス室内循環フードで、調理する際の油煙や臭いを油吸着フィルタ・脱臭フィルタ・エアフィルタの３種類のフィルタで吸収し、空気を室内に循環させます。そのため、冷暖房効率に優れています。
※調理時に発生する煙は除去できません。

◆ 運転停止装置について（温度センサ）

炎などによる異常な高温を感知すると電源回路を遮断し、製品を保護する安全装置を備えています。
万が一運転停止装置が作動した場合は、「フジテックメンテナンス」にご連絡ください（19 ページ参照）。

◆ ルーバー（風向板）について

本体前ふたにあるルーバー（風向板）により、排気の吹出し方向を自由に変えることができます。お好みの方向に調節してお使いください。

◆ 整流板について

整流板を取り付けることによって、整流板周りの吸い込み速度がアップし、フード外へ逃げようとする油煙を効率よく捕獲します。そのため、整流板は必ず取り付けた状態でご使用ください。

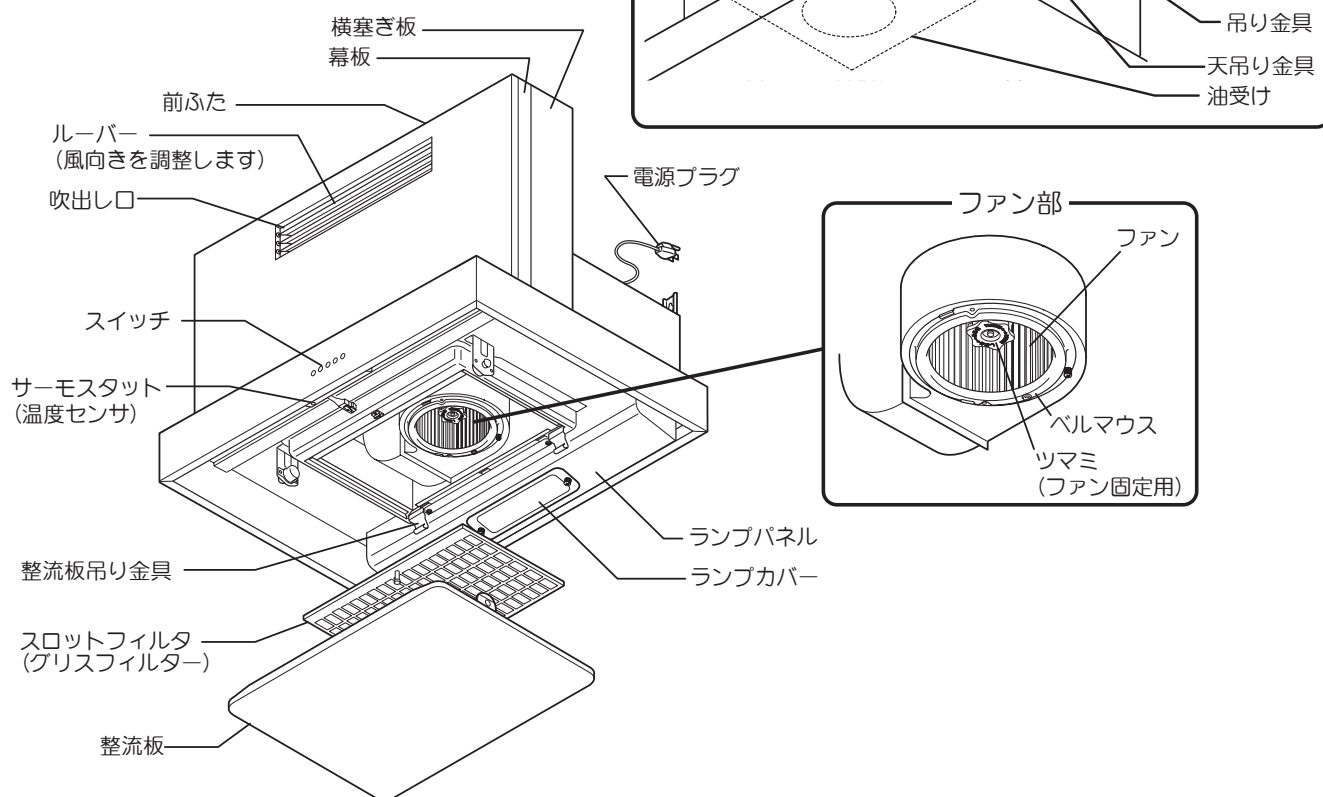
エアフィルタ、脱臭フィルタおよび油吸着フィルタの交換について

フィルタの交換時期は本室内循環フードのご使用頻度により異なりますが、エアフィルタおよび脱臭フィルタの交換目安はおよそ３年、油吸着フィルタはおよそ１２年です。
各フィルタともに本室内循環フード専用のフィルタ（別売品）をご使用ください。
フィルタ交換につきましては、「フジテックメンテナンス」にお問い合わせください（19 ページ参照）。

お願い

●各フィルタの交換・回収・処分はフジテックメンテナンス㈱のサービスマンがおこないますのでお客様で分解・交換しないでください。

使いかた

各部のなまえ

お願い

- ●ルーバーは風の流れの妨げにならないよう、なるべく正面に吹き出すように、向きを揃えて調整してください。ルーバーが閉じた状態で使用すると吸い込みが悪くなり、異音・振動などの原因となることがあります。
- ●吹出し口から中に物を入れたり、水や洗剤をかけないでください。故障の原因になります。

使いかた

スイッチ

切 運転停止スイッチ

スイッチを押すと直ちに運転を停止します。
※ 照明は消えません。 を押すと消えます。

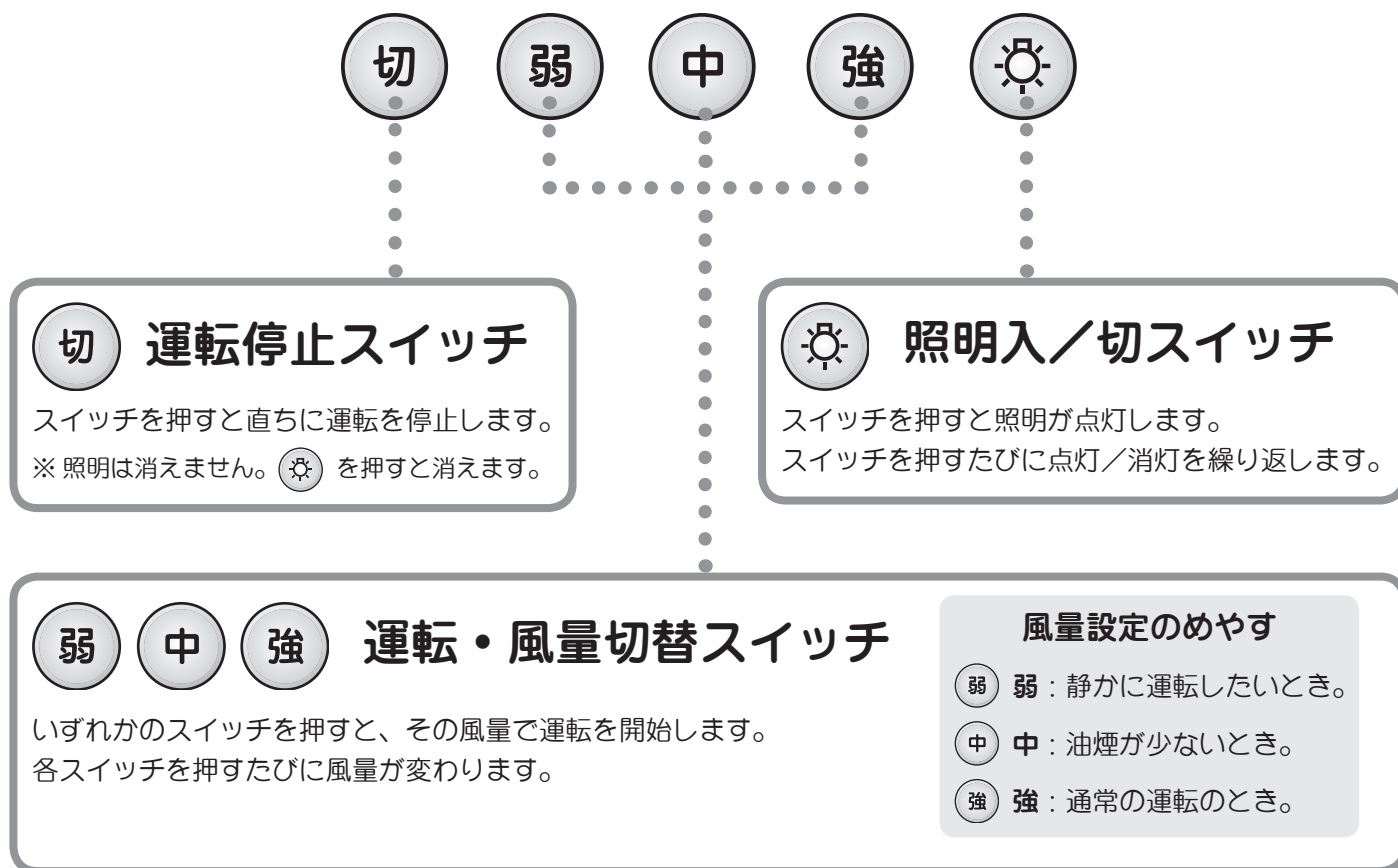
照明入／切スイッチ

スイッチを押すと照明が点灯します。
スイッチを押すたびに点灯／消灯を繰り返します。

弱 中 強 運転・風量切替スイッチ

いずれかのスイッチを押すと、その風量で運転を開始します。
各スイッチを押すたびに風量が変わります。

風量設定のめやす

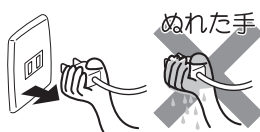
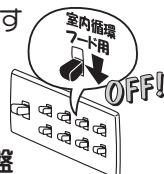
弱 **弱**：静かに運転したいとき。
中 **中**：油煙が少ないとき。
強 **強**：通常の運転のとき。

スイッチの標記について

ご購入いただきました製品により、スイッチの標記がボタン上に標記されているものと、ボタン下のパネル面に標記されているものがあります。
本書はボタン標記の図で説明していますが、操作方法や性能に関しては全て同じです。

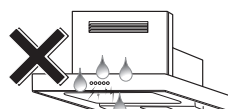
お手入れのしかた

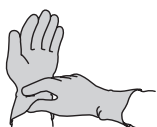
⚠警告

プラグを抜く

● **お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のブレーカを切ること**
またぬれた手で抜き差し、入／切しないこと
感電やけがをすることがあります

水かけ禁止

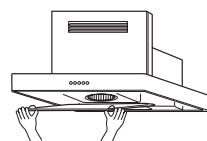
● **電気部品（モータ・スイッチ等）は、水・洗剤等の液体につけたりかけたりしないこと**
ショート・感電のおそれがあります

⚠注意

手袋をする

● **お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること**
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります

水かけ禁止

● **お手入れの際などに、吹出し口から中に物を入れたり、水や洗剤をかけないこと**
故障の原因になります

取付注意

● **お手入れの際にはずした整流板やファン、部品の取り付けは確実におこなうこと**
落下によりけがをするおそれがあります

お手入れの際のお願い

● **おそうじはこまめにする**
・油が付着した状態で長期間ご使用になりますと、酸化した油で塗装面が変質して塗装はがれの原因になります。
【変質がひどいと擦っただけではがれることがあります。】

● **中性洗剤を使う**
・おそうじの際には台所用中性洗剤をご使用ください。右図のものを使用されますと塗装面が変色したり、キズがついたり、はがれたりするおそれがあります。
汚れがひどく、アルカリ性合成洗剤を使われる場合は、洗剤に表示されている使用上の注意をよくお読みになって、目立たないところで試してからご使用ください。

スポンジタワシの硬い面
アルコール
ベンジン
アルカリ性洗剤
殺虫剤
クレンザー
かびとり剤
シンナー
研磨剤入りタワシ
金属タワシ

> 油汚れ落としに最適な、弊社推奨の弱アルカリ合成洗剤「サットレールスプレー」、「サットレールシート」があります。また、ファン内部の清掃も有償でおこなっております。
> 詳細は「フジテックメンテナンス」にお問い合わせください。（19ページ参照）

● **熱湯は変形のもと**
・６０℃以上の熱湯は使用しないでください。樹脂部品が変形するおそれがあります。

● **ファンを変形させない**
・ぶつけたり、落としたりして変形したファンで運転すると、振動や異音が発生するおそれがあります。

● **ファンをはずした状態では運転しない**
・ファンをはずした状態で運転しないでください。モータが過熱して故障の原因になります。

● **スロットフィルタは専用のものを使う**
・一般市販品をご使用になりますと通気抵抗が大きくなり、吸い込みが悪くなったり音が大きくなるなど故障の原因になりますので、絶対に使用しないでください。
また、金属製以外のグリスフィルタをご使用になると、火災の原因となるおそれがありますので、これらの使用は絶対にやめてください。

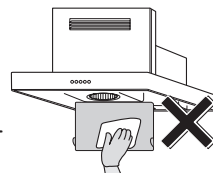
お手入れのしかた

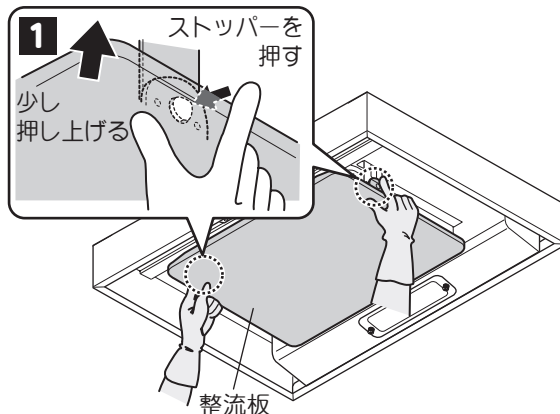
取りはずしのしかた

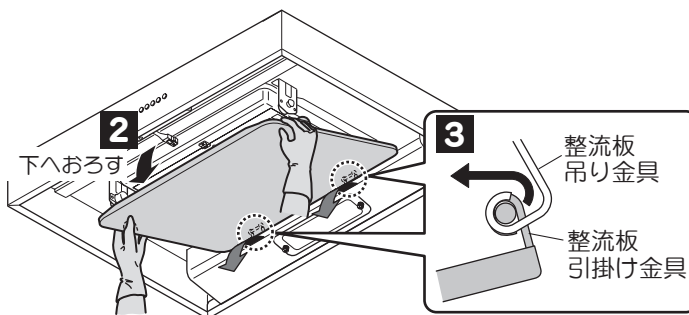
⚠注意

落下注意

- 整流板を落とさないように両手でしっかりと支えること
- 整流板を本体から取りはずさずに、右図のような状態でお手入れをしないこと

落下するとけがをしたり、部品の傷・変形の原因となります

1 **整流板をはずします。**

1）整流板の左右を両手で支え、少し押し上げます。

2）左右のストッパーを押し込みながらゆっくりと10cm程度おろした状態で、整流板を少し奥に押し上げながら上に持ち上げ、整流板吊り金具からはずして手前へ取りはずします。

※必ず左右同時にはずしてください。
整流板吊り金具の変形の原因になります。

お願い

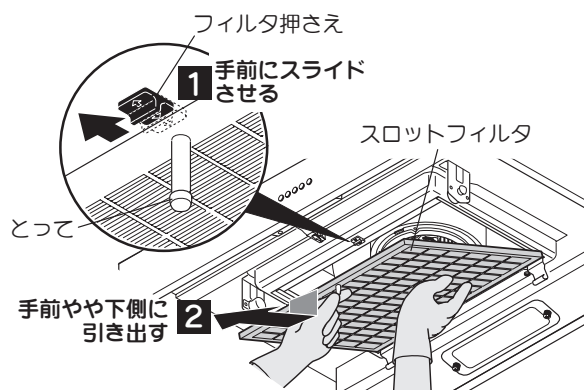
- 取りはずしの際は、整流板に油がたまっている場合がありますので、油ダレに十分ご注意ください。
- 整流板のお手入れの際は、整流板引掛け金具や整流板吊り金具を変形させないようにご注意ください。変形させてしまった場合、整流板が取り付かなくなるおそれがあります。

2 **スロットフィルタをはずします。**

1）スロットフィルタを手で支えながら、フィルタ押さえを手前にスライドさせます。

2）スロットフィルタのとってを持ち、手前やや下側に引き出します。

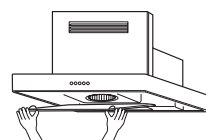
お願い

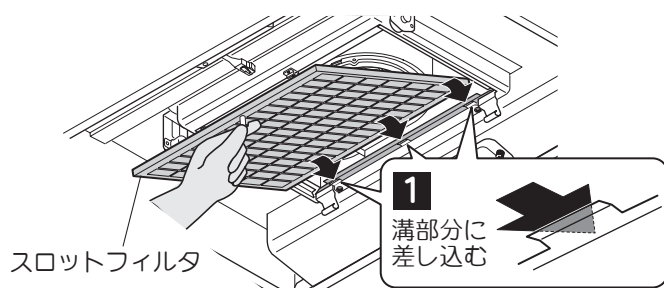
- スロットフィルタをはずす際は、必ず手を添えてください。（添えないと手前に落下し、けがをするおそれがあります。）

お手入れのしかた

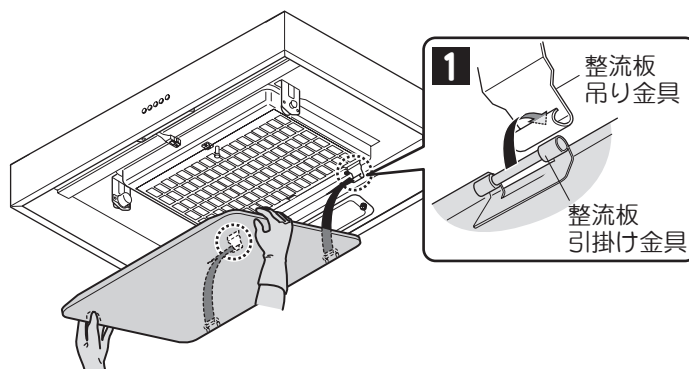
組み立てのしかた

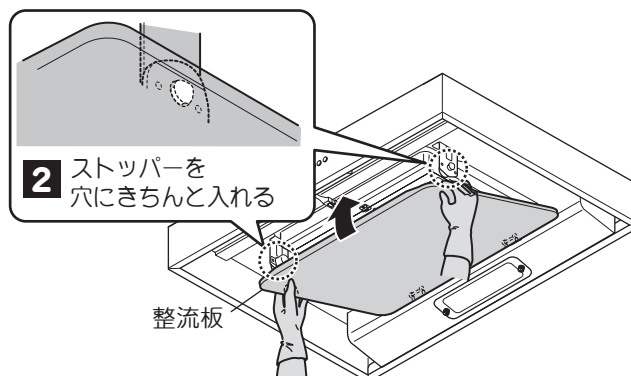
⚠ 警告

● **お手入れの際にはずした整流板やスロットフィルタの取り付けは確実におこなうこと**

落下によりけがをするおそれがあります

1 スロットフィルタを取り付けます。

本体の溝部分にスロットフィルタを差し込み、固定用のフィルタ押さえを奥側にスライドさせて固定します。

2 整流板を取り付けます。

1）整流板引掛け金具を整流板吊り金具に引っ掛けます（ 1 ）。

2）前端をゆっくり持ち上げてパチンと音がするまで押し込んでください（ 2 ）。

3）整流板を軽く上下に動かしてみて確実に取り付けられたことを確認してください。

お願い

●整流板の固定は確実に行ってください。
ロックが不十分ですと落下の原因になります。

お手入れのしかた

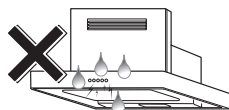
お手入れのしかた

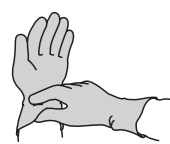
取りはずしのしかた、組み立てのしかたは 10、11 ページをご参照ください。

⚠ 警告

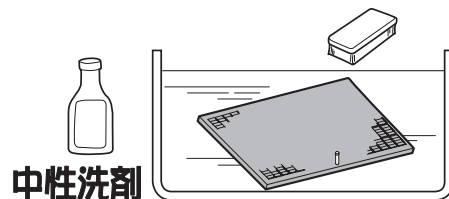
● **電気部品（モータ・スイッチ等）は、水・洗剤等の液体につけたり、かけたりしないこと**

ショート・感電のおそれがあります

⚠ 注意

● **お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること**

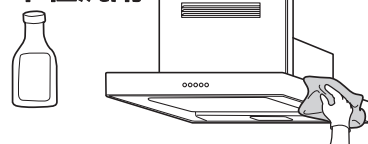
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります

こまめにおそうじしてください。
油が付着した状態で長期間ご使用になりますと、酸化した油で塗装面が変質して塗装はがれの原因になります。
早めにおそうじいただきますと、汚れが簡単に落とせますし、塗装面の劣化も防げます。

■ スロットフィルタ

（汚れたらその都度お手入れしてください。 目安: 1 ヶ月に 1 回程度）
中性洗剤を溶かしたぬるま湯に浸したのち、表面のやわらかい布やスポンジなどで洗ってください。
汚れを落としたあと、洗剤が残らないように水洗いし、水気をとってから取り付けてください。

お願い

● スロットフィルタはこまめにおそうじしてください。目詰まりを放置すると、換気不良や異音・振動の原因となります。

■ 本体・整流板

（汚れたらその都度お手入れしてください。 目安： 1 ヶ月に 1 回程度）
ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤をやわらかいスポンジや布に含ませ、汚れをふき取ってください。
その後、洗剤が残らないように水で湿らせた布でよくふき取ってください。

お願い

● 整流板の裏面は汚れが強い場合があります。この場合は中性洗剤溶液に浸して、油が落ちやすくなってから汚れをふきとってください。
● 整流板は必ずフードから取りはずしてお手入れをしてください。
● はずした整流板は平らな面でお手入れしてください。（変形・キズの原因となります。）
● 整流板は食器洗い乾燥機に入れないでください。塗膜の劣化により、塗装がはがれるおそれがあります。

※完了後は再び電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。
またブレーカを切った場合は、ブレーカを入れてください。

お手入れのしかた

ファンのお手入れのしかた

⚠ 警告

プラグを抜く

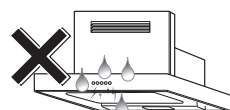
- **お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のブレーカを切ること**
  またぬれた手で抜き差し、入／切しないこと
  感電やけがをすることがあります

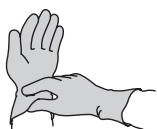
水かけ禁止

- **電気部品（モータ・スイッチ等）は、水・洗剤等の液体につけたりかけたりしないこと**
  ショート・感電のおそれがあります

禁　止

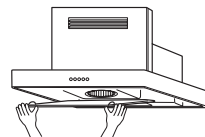
- **調理器具を使用中には絶対にお手入れはしないこと**

⚠ 注意

手袋をする

- **お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること**
  鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります

落下注意

- **部品を落とさないように両手でしっかりと支えること**
  落下するとけがをしたり、部品の傷・変形の原因となります

取付注意

- **お手入れの際にはずした整流板やファン、部品の取り付けは確実におこなうこと**
  落下によりけがをするおそれがあります

お手入れのしかた

汚れがひどい場合でファンもお手入れする場合には次の手順で行ってください。

■ ファンのはずしかた

1 **取りはずしのしかた（10 ページ）を参照して、整流板およびスロットフィルタをはずします。**

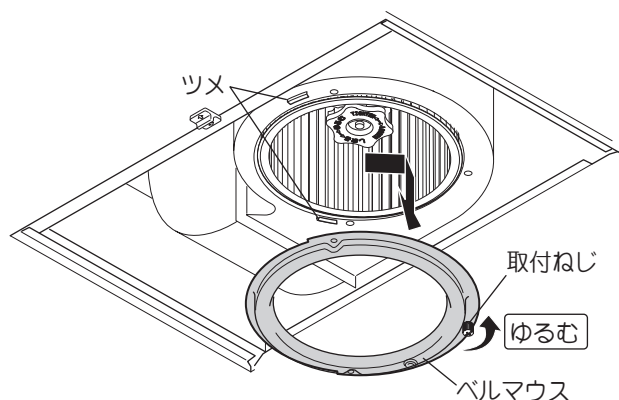
お願い

● 不安定な姿勢で整流板をはずしたり、整流板を落としたりしないでください。
落下によるけがや器具類破損の原因になります。

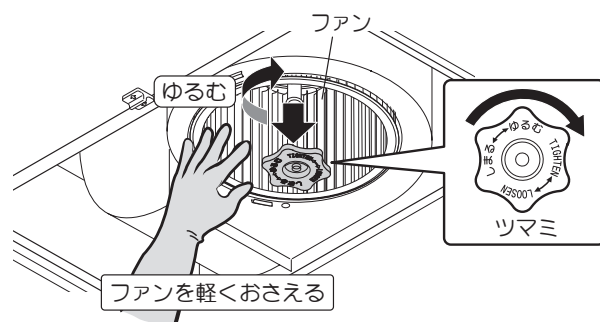
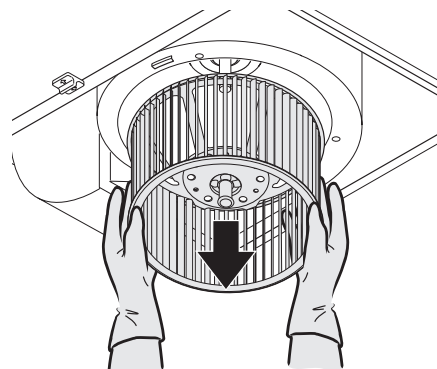
2 **ベルマウスをはずします。**

ベルマウスを手で支えながら取付ねじ（1 ヶ所）をはずし、ベルマウスをスライドさせてツメ部（2 ヶ所）からはずします。

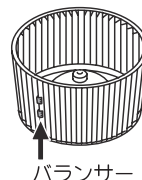
お願い

● 取りはずしの際は、ベルマウスに油がたまっている場合がありますので、油ダレに十分ご注意ください。

3 **ファンをはずします。**

1）ファンを軽く押さえ、ツマミを「ゆるむ」（時計回り）の方向に回してはずします。

※ファンは軽く押さえてください。
（強く押さえると変形することがあります。）

2）両手で支え、ファンを取り出します。

お手入れのしかた

お願い

- ●ファンを強く押さえたり、ぶつけたり、落としたりして変形させないでください。
  （異常な音や振動の原因となります。）
- ●ファンの回転バランスをとるために、バランサー（重り）がついている場合がありますが、絶対にはずさないでください。
  （バランスがくずれ、吸い込みが悪くなったり、異音や振動の原因となります。）

■ ファンの洗いかた

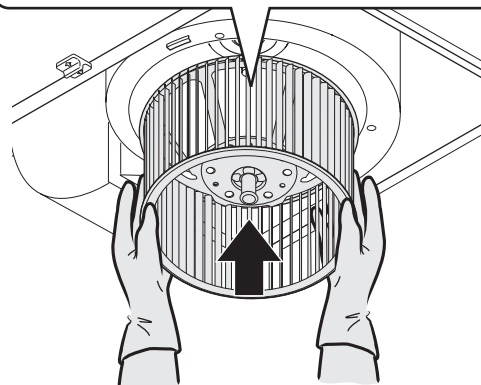
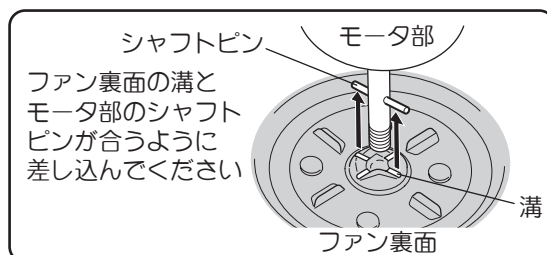
ファンを本体からはずし、中性洗剤を溶かしたぬるま湯につけて洗ってください。
汚れを落としたあと、洗剤が残らないよう水洗いし、水気を取ってから取り付けてください。

■ ファンの取り付けかた

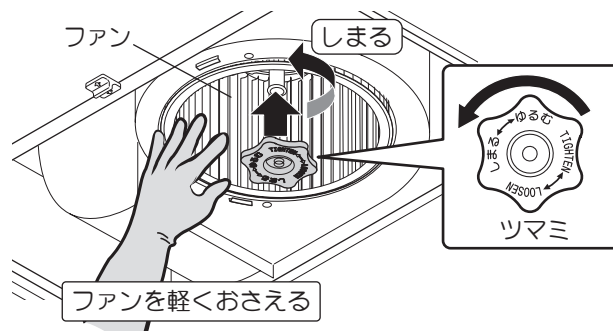
1 **ファンを取り付けます。**

1）ファン裏面の溝がモータ部のシャフトピンに合うように差し込みます。

お願い

- ●ファン裏面の溝がシャフトピンに合うように確実に差し込んでください。
  （溝がシャフトピンに合っていないと異常音や落下によりケガをするおそれがあります。）

2）ファンが回らないように軽く手でおさえ、ツマミを「しまる」（反時計回り）の方向に回して締め付けます。

※ファンは軽くおさえてください。
（強くおさえると変形することがあります。）

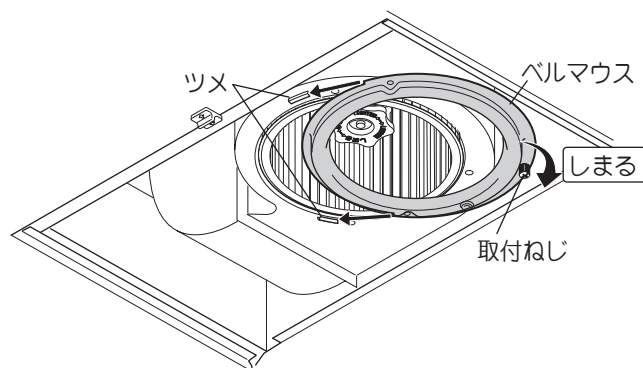
1J02 0581

お手入れのしかた

2 ベルマウスを取り付けます。

２ヶ所のツメにベルマウスを差し込み、取付ねじを締め付けてベルマウスを固定します。

取り付け後、ファンを手で回してこすれ音などがないことを確認してください。

お願い

●ファン・ベルマウスは確実に取り付けてください。
（異音や故障の原因となります。）

3 組み立てのしかた（11 ページ）を参照して、スロットフィルタおよび整流板を取り付けます。

※完了後は再び電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。
またブレーカを切った場合は、ブレーカを入れてください。

お手入れのしかた

ランプ交換のしかた

ご使用のランプが切れたときは、下記の市販のミニ電球または電球形蛍光灯を購入し、交換してください。

● ミニ電球　　　定格１００Ｖ　４０W形　口金Ｅ１７
● 電球形蛍光灯　定格１００Ｖ　電球４０W形　口金Ｅ１７
　形名ＥＦＤ１０Ｅ形（取り付け可能寸法：長さ９１mm以下、直径４５mm以下）

⚠ 警告

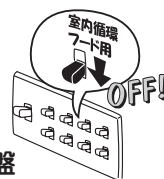
プラグを抜く

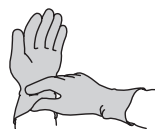
● **ランプ交換の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のブレーカを切ること またぬれた手で抜き差し、入／切しないこと**
感電やけがをすることがあります

分電盤

禁　止

● **調理器具を使用中には絶対にお手入れはしないこと**

⚠ 注意

手袋をする

● **お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること**
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります

高温注意

● **ランプの交換は、ガラスやランプが十分冷めてから行うこと**
やけどのおそれがあります

● **指定以外のランプを使わないこと**
ランプカバー周辺が高温となり、故障ややけどのおそれがあります

使用禁止

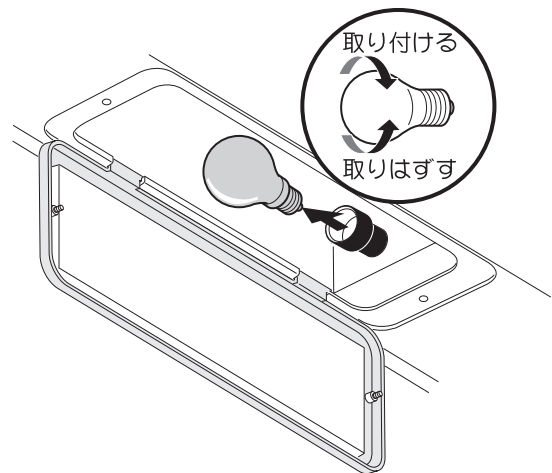
1J02 0581

お手入れのしかた

1 **ランプカバーを開きます。**

２本のランプカバー取付ねじをゆるめ、
ランプカバーを開きます。

2 **ランプを交換します。**

切れたランプを取りはずし、ソケットに
新しいランプを確実に固定します。

3 **ランプカバーを閉じます。**

２本の取付ねじを締め付けてランプカバー
を固定します。

※完了後は再び電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。
　またブレーカを切った場合は、ブレーカを入れてください。

お手入れのしかた

各フィルタについて

エアフィルタ、脱臭フィルタおよび油吸着フィルタの交換および処分について

● **脱臭フィルタ、エアフィルタ【型番：ADFRK-33346**（脱臭フィルタ・エアフィルタのセットです）**】**

交換目安はおよそ３年ですが、使用条件により交換時期が変動します。
また、交換後も油くさいにおいがあるときは、油吸着フィルタの交換が必要です。

● **油吸着フィルタ【型番：MFRK-33346】**

交換目安はおよそ１２年ですが、使用条件により交換時期が変動します。
また、脱臭フィルタ交換後も油くさいにおいがあるときは、交換目安に限らず油吸着フィルタの交換が必要です。

各フィルタともに本室内循環フード専用のフィルタをお使いください。
フィルタ交換の際は下記までお問い合わせください。

フィルタ交換のお申し込み・お問い合わせは、
販売窓口の「フジテックメンテナンス」まで

フリーダイヤルもしくはFAXで受け付けております。

フリーダイヤル **0120-227-266**　ＦＡＸ **042-768-3383**

受付時間９：００～１７：４５（土、日、祝日、夏季休暇、年末年始を除く）

お願い

●各フィルタの交換はフジテックメンテナンス㈱のサービスマンがおこないます。
●各フィルタの交換・回収・処分はサービスマンがおこないますので、
お客様ご自身での交換・処分はおこなわないでください。

代金について

●各フィルタの交換・回収・処分は有償となります。
●代金のお見積についてはフジテックメンテナンス㈱までお問い合わせください。

ご注意

●訪問販売による高額な使い捨てスロットフィルタ（グリスフィルター）のクレームが多発しておりますが、
当社とは一切関係ありません。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

●当社はお客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報は、ご注文品の発送や確認業務、
アフターメンテナンスの対応などに利用することとし、それ以外の目的には利用いたしません。

1J02 0581

故障かなと思ったら

修理を依頼されるまえに　次の点をもう１度お調べください。

症　状	考えられる原因	処　置
● スイッチを入れてもファン・照明の電源が入らない。 ● ファンがまわらない。	● 周囲が異常温度になっている。（自動停止装置が作動している。） ● 分電盤のブレーカが「切」になっている。 ● 電源プラグがはずれている。 ● コネクタがはずれている。	●「フジテックメンテナンス」に連絡する。（19 ページ参照） ● 分電盤のブレーカを「入」にする。 ● 電源プラグを差し込む。 ● 排気口のコネクタ接続を確認する。（取付説明書 14 ページ参照）
● 照明がつかない。	● ランプが切れている。 ● ランプの取り付けがゆるんでいる。	● ランプの交換をする。 ● ランプを取り付け直す。（18 ページ参照）
● 異音がする。	● スロットフィルタが汚れている。 ● ファンのツマミがゆるんでいる。 ● ファンの取り付けが不十分。 ● ベルマウスの取付ねじがゆるんでいる。	● スロットフィルタをそうじする。（12 ページ参照） ● ファンのツマミを締め直す。（15 ページ参照） ● ファンを取り付け直す。（15 ページ参照） ● ベルマウスを取り付け直す。（16 ページ参照）
● 吸い込みが悪い。	● 市販のグリスフィルターを重ねている。 ● エアコンや窓からの風があたっている。 ● スロットフィルタが汚れて目詰まりしている。 ● エアフィルタが汚れている。 ● 油吸着フィルタが汚れている。 ● 吹出し口が閉じている。	● 市販のグリスフィルターをはずす。 ● 風があたらないようにする。 ● スロットフィルタをそうじする。（12 ページ参照） ●「フジテックメンテナンス」に連絡する。（19 ページ参照） ●「フジテックメンテナンス」に連絡する。（19 ページ参照） ● ルーバーの向きを調整する。
● 臭いが取れない。	● フィルタが汚れている。（使用頻度が多い、使用期限を過ぎている。）	●「フジテックメンテナンス」に連絡する。（19 ページ参照）
● 振動が大きい。	● ファンのバランスがくずれている。 ● フィルタが汚れている。	● 修理を依頼する。 ●「フジテックメンテナンス」に連絡する。（19 ページ参照）

仕様

定格電圧(V)	ノッチ	定格周波数(Hz)	消費電力(W)	風量(0pa時)(m^3/h)	騒音(dB)	製品質量(kg)
100	強	50	75	310	42.5	600幅：27.0
		60	90	330	44	
	中	50	50	210	35.5	750幅：29.0
		60	55	185	33	
	弱	50	30	130	27	900幅：31.0
		60	35	110	25	

消費電力、風量、騒音の測定はJIS C 9603による。

騒音値、風量は実際の使用条件では変化しますのでご了承ください。

室内循環フードに使用している部品は、性能向上などのために予告なしに一部変更することがあります。

- 油吸着フィルタ　：ハニカム構造セラミックフィルタ
- 脱臭フィルタ　　：ハニカム構造カーボンフィルタ（2層）
- エアフィルタ　　：難燃性ポリアミド
- 自動運転停止装置：サーモスタットによる電源OFF（作動時、電動シャッタ閉）

アフターサービス（必ずお読みください）

補修用性能部品の最低保有期間

- 当社はこの製品の補修用性能部品を製造打切り後6年間保有しています（フィルタを除く）。
（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

ご不明な点や修理に関するご相談は

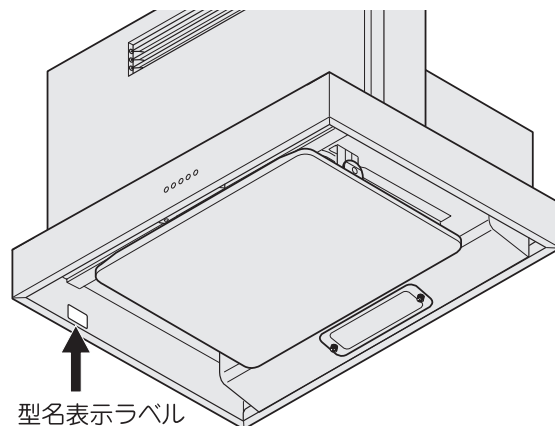
修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

- 製品の保証期間は、お買い上げ後取扱説明書、本体貼付ラベルの注意書に従った正常なご使用状態において1年間です。
ただし、次の場合には保証期間内でも有料になります。
(1)　火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、異常電圧等不慮の事故により生じた故障および損傷。
(2)　使用上の誤り、改造等による故障および損傷。

修理を依頼されるときは

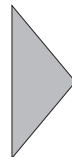
20 ページに従って調べていただき、なお異常のあるときはご使用を中止し、必ず電源プラグを抜くか、分電盤のブレーカを切ってから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容	
品　名	室内循環フード
型　名	
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども併せてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

お買い上げの際に記入しておくとサービスを依頼されるときに便利です。

型名は本体の左側面内側に表示してあります。

愛情点検

★長年ご使用の製品の点検を

ご使用の際、このような症状はありませんか？	● スイッチを入れても、動かないときがある。 ● 運転中に異常な音や振動がある。 ● 焦げ臭いにおいがする。 ● その他、異常・故障がある。

ご使用 中止	このような症状のときは、故障や事故防止のため、ブレーカを切り、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

修理料金の仕組み

- 修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
- 技術料は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
- 部品代は、修理に使用した部品および補助材料代です。
- 出張料は、お客様のご依頼により、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

各フィルタの使用期間の目安となりますのでご記入ください。

各フィルタご使用開始日

●脱臭・エアフィルタ セット：ADFRK-33346（使用目安：３年）　年　月　日

●油吸着フィルタ　：MFRK-33346（使用目安：12 年）　年　月　日

交換のお申し込み・お問い合わせはフジテックメンテナンス株式会社までお願いします。

保　証　書

型名　NSR-RK-601/751/901

保証期間　1年間	★お買い上げ日	年　月　日
★お客様	ご住所	〒□□□-□□□□
	お名前	様　TEL　（　　）
★販売店	住所	印 または サイン
	店名	TEL　（　　）

★印欄に記入のない場合は有効とはなりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。もし、記入がない場合には直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。本書は再発行致しませんので紛失しないよう大切に保管してください。

記

本書は、本書記載内容で、無料修理させていただくことをお約束するものです。

1．お客様の取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書による正常なご使用状態で、保証期間中に故障した場合には、お買い上げの販売店に出張修理をご依頼のうえ、修理に際して、本書をご提示ください。無料修理させていただきます。
2．なお、保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
3．つぎのような場合には保証期間内でも有料修理になります。
(1)ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
(2)お買い上げ後の落下や輸送上の故障および損傷。
(3)火災、塩害、ガス害、地震、風水害、落雷、異常電圧およびその他の天災地変による故障および損傷。
(4)本書のご提示がない場合。
(5)本書にお客様名、お買い上げ日、販売店名のない場合、あるいは字句を書きかえられた場合。
(6)一般家庭用以外(例えば業務用など)に使用された場合の故障および損傷。
(7)車輛、船舶などに、備品として使用した場合に生ずる故障および損傷。
4．本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
5．ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
6．離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理をおこなった場合は、出張に要する実費を申し受けます。

お客様へ　この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間などについて、詳しくは取扱説明書をご覧ください。なお、ご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社にお問い合わせください。

修理記録	年月日	修理内容	担当者

販売元：富士工業販売株式会社
〒229-0006　神奈川県相模原市渕野辺 2−1−9
製造元：富士工業株式会社

標準使用期間の本体表示について

（本体への表示内容）

※ 経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために右の内容の表示を本体におこなっています。

⚠	【製造年】本体に西暦4ケタで表示してあります。 【設計上の標準使用期間】10年 設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

（設計上の標準使用期間とは）

※ 運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※ 設計上の標準使用期間は、無償保障期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

● 「経年劣化とは」
長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

■標準使用条件　日本工業規格 JIS C 9921-2 を参照

環境条件	電圧	単相　100V	
	周波数	50Hz 又は／及び60Hz	
	温度	20℃	JIS C 9603参照
	湿度	65%	JIS C 9603参照
	設置条件	標準設置	取付説明書による
負荷条件		定格負荷	取扱説明書による
想定時間	1年間の使用時間	運転時間 台所　2 410時間／年	

お客様の個人情報のお取り扱いについて

当社および当社関係会社（以下「当社」）は、お客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報（以下「個人情報」）を、下記の通り、お取り扱いします。

1. 当社は、お客様の個人情報を、当社製品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
   なお、修理やその確認業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。
2. 当社は、お客様の個人情報を、適切に管理します。
3. お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

修理依頼について

修理を依頼されるときは、お買い上げの販売店、またはシステムキッチンメーカーにご連絡ください。

お客様メモ	購入店名　　　　電話　（　　）
	（システムキッチンメーカー名：　　　　）
	ご購入年月日　　平成　　年　　月　　日

『サットレールスプレー』『サットレールシート』の
お取り扱い窓口は

フジテックメンテナンス株式会社

お申し込み・お問い合わせ　0120−227−266
ＦＡＸ　042−768−3383
ホームページ　http://www.fuji-tech.jp/
受付時間　9:00 ～17:45（土、日、祝日、夏季休暇、年末年始を除く）

〔販売元〕富士工業販売株式会社
お客様ご相談窓口　0120−071−686
受付時間　9：00～18:00（土、日、祝日、夏季休暇、年末年始を除く）

〔製造元〕富士工業株式会社
〒229-0006 相模原市渕野辺２丁目１番９号